

来て見て旭川

通勤族から見た

「散策するのが楽しい町」

旭川はもちろん、北海道に住むのははじめてです。冬は寒いですが、室内は東京以上に快適です。これでは旭川の人々が東京に来て、「東京の冬は寒い」と嘆くのも、当然だと思います。

驚いたのは、食べ物のおいしさ、歩道の広さ、ごみの少なさでした。笑われるかも知れませんが、ここで回転寿司を初めて食べた時は、「今まで寿司だと思って

いたものは、一体何だったのだろうか？」と真剣に思っていました。緑橋通りや買物公園通りをはじめ、歩道が広く歩きやすいことも、素晴らしい。過去、東京などで、車が多いのに歩道がなくて、恐い思いをした経験が無数にあります。ごみ削減のための取組み（家庭ごみやスーパーの買い物袋が有料）と徹底したごみの分別にもびっくりしました。旭川市の一人一日あたりのごみの量は、全国トップクラスの少なさというところで、

「エコ」であることが尊ばれる今の時代にマッチした素晴らしい取組みであり、うまくPRできれば、町のブランド力アップにもつながるのではないのでしょうか。

また、通勤ラッシュと無縁で住環境がよいことも、とてもうれしいことです。昔東京で、片道2時間弱かけて通勤していたことがあります。仕事が忙しいと寝不足になりますし、込み過ぎて身動きがとれず、降車駅を乗り過ごした苦い経験もあります。嫌気がさして

新宿に引っ越しましたが、今度は狭くて古いワンルームに住む羽目になってしまいました。適度な広さの住まいから、徒歩で通勤できる今の生活は天国です。

これらにも増して、当地の最大の魅力は、都市機能が整っているのに、美しい自然や様々な観光スポットに恵まれていることです。う。大自然が身近で、大小の美しい公園と川の景観が見事です。一方で、東京やその他大都市で失われた明治や大正の歴史が古い赤レンガの建物などに残されています。三浦綾子、井上靖ゆかりの地で、それに関連する文化スポットも点在しています。

一方、謙虚な人柄のせいかな、自己PRはあまり上手くないように感じることがあります。当地の人は親切で優しいのに、旭川でお奨めスポットはどこですか、と尋ねると、「旭川には何にもない」等、少しそっけない答えが返ってくる場合があります。町の特長や歴史を一言添えるだけで、初めて旭川を訪れた人は、興味深く思っ

てくれるでしょう。

市内の観光スポット間は、少し距離がありますので、自転車をレンタルサイクルもあります。ところがよそから観光に来る人には、このことがあまり知られておらず、もったいない気がします。自転車で市内の観光スポットを巡りながら、美味しいラーメンや回転寿司、スイーツ等を味わう贅沢を、一人でも多くの人に楽しんでもらいたいものだなあ、と思います。



日本銀行旭川事務所
事務所長

荒木 光二郎

(あらかき こうじろう)

愛媛県

昭和35年2月18日生まれ

■略歴

平成15年10月 松本支店次長
平成19年7月 総務人事局能力開発担当企画役
平成21年3月 調査統計局地域経済担当企画役
平成22年10月 現職に就任

■趣味／旅行、カメラ、執筆、音楽鑑賞